平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ☐ 評価対象 ☒ 新規 ☐ 完了事業 ☐ ゼロ予算事業 ☐ 担当者	市村忠義
	全体計画 ☐ 経費区分 ☐ 経常的経費 ☐ 内線	3324
事務事業名	4089 高齢者在宅福祉事業	
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課	
施 策	01020400 高齢者福祉の充実	
予算 科目	会計	01 一般会計
	科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費
	事業	030000 高齢者在宅福祉事業
事業目的		事業概要・効果
ひとり暮らし・寝たきり・認知症高齢者に対して、在宅での生活支援と介護世帯の経済的負担の軽減を図る。		高齢者が在宅で安心して暮らせるように、住宅改良やひとり暮らし安心コールなど自立した生活を維持するために必要な支援を行う。

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・孤立死の未然防止を図るため、緊急通報システムの利用者拡大に努めた。 ・おむつ券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立死の未然防止を図るため、緊急通報システムの利用者拡大に努めた。 ・おむつ券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・孤立死の未然防止を図るため、緊急通報システムの利用者拡大に努めた。 ・おむつ券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立死の未然防止を図るため、緊急通報システムの利用者拡大に努めた。 ・おむつ券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業や、高齢者にやさしい住宅改良促進事業等を実施し、在宅で安心して生活できるよう在宅福祉の充実を図った。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業の実施。 ・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業の実施。

指標名	指標を測定する方法がないため					
算式						単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		8,247	10,631
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	750	1,062
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,497	9,569
人員数 (人)	正規職員	0.8	0.6
	嘱託職員	0.2	0.4
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	5,486.4	4,114.8
	嘱託職員	545.0	1,090.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,031.4	5,204.8
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		14,278.4	15,835.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	32	消耗品費
13節 委託費	3,586	助け合い推進事業関連事業委託料・ひとり暮らし安心コール事業委託料等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	3,257	宅老所緊急宿泊支援事業補助金・寝たきり老人等タクシー利用助成金・高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金等
その他	1,372	寝たきり老人等整容・美容料給付費等

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	40	消耗品費
13節 委託費	4,142	助け合い推進事業関連事業委託料・ひとり暮らし安心コール事業委託料等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,262	宅老所緊急宿泊支援事業補助金・寝たきり老人等タクシー利用助成金・高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金等
その他	2,187	寝たきり老人等理容・美容料給付費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者等が、在宅で安心して生活を維持するために必要な支援を行うことができる。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 住宅改良、ひとり暮らし安心コール、理容・美容利用券給付等を行い、ひとり暮らし高齢者等が在宅で安心して生活できるよう必要な支援を行うことができる。 介護世帯の経済的負担の軽減を図ることができる。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 県の補助金を活用している。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。 緊急時の連絡先、かかりつけ医、民生児童委員等の氏名が記入できる「暮らしのあんしん板」を配付した。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

高齢者が在宅生活を継続するために、経済的支援や民生委員や民間事業者の協力を得て見守りを実施できた。

2次評価コメント

一人暮らし世帯の安全を支える体制や在宅介護の支援事業は今後も重要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--